

1. 研修講師の氏名、専門分野、保有資格、講師経験の有無

氏名：森 豊

専門分野：ごみ焼却、ごみ発電、バイナリー発電、燃料電池システム、省エネルギー

保有資格：技術士（機械部門）、エネルギー管理士、博士（工学）

講師経験：官公庁で「ごみ焼却施設の最新動向（特にエネルギー利用関連）」についての技術職員研修講師。その他、民間主催のセミナーでは多数回の講師経験を有する。”

2. 研修テーマ

自治体設備の創エネと省エネ（ごみ焼却発電、下水汚泥焼却発電、設備機器の省エネルギー対策など）

3. 研修の概要

近年、ごみ焼却施設は燃焼、排ガス処理、エネルギー利用、省エネルギー等について高度化が図られています。その背景には、環境規制の強化やエネルギーの有効利用の必要性がありますが、廃棄物を効果的に処理し、排出される可燃性物質を有効利用していくことは、二酸化炭素の削減やエネルギー利用の観点から自治体としても取り組むべき重要な課題となっています。更に、最近のごみ焼却施設を非常時の防災拠点やエネルギーセンターとして位置付ける動向もあります。

講師予定者は、企業にて高効率ごみ発電施設の開発や実証運転を経験し、また最近は最新のごみ焼却設備の工事監査助勢（2009年以降6件）を担当しています。このような経験を基に、ごみ焼却施設についての最新技術動向を分かりやすく丁寧にご説明致します。

4. 研修対象とする職員

ごみ処理業務（下水処理業務）に従事する技術職員、エネルギー管理に従事する技術職員、ならびに新設設備の計画に携わる技術職員等

5. 研修受講により期待される効果

ごみ焼却施設の技術動向は、書籍や実地見学でも知ることができます。しかしながら、体系的に、かつ研修を希望される皆様の立場に立ったオーダーメイドの研修が受けられることにより、短時間で効果的な技術動向の把握ができます。また、メーカー様やコンサル様でもこのような研修を行うことは可能ですが、どうしても自社技術が中心となります。当会では、技術士として公平・公正な立場で技術説明を行います。

現在、設備を運用されている方々にとっては、最新の技術動向とごみ焼却設備への期待の高まりを知って頂くことでモチベーションアップにつながります。建設計画部署の方々にとっては、最新施設のコンセプトや詳細技術を知って頂くことにより、具体的な建設計画に役立てることが出来ます。

ごみ処理施設の建設及び維持管理は自治体様にとって多大な予算を必要とするものです。公金を有効に使用する上でも、是非、本研修を受講し実際の業務に活用されることをご推奨申し上げます。